

## 平成 17 年度決算ハイライト

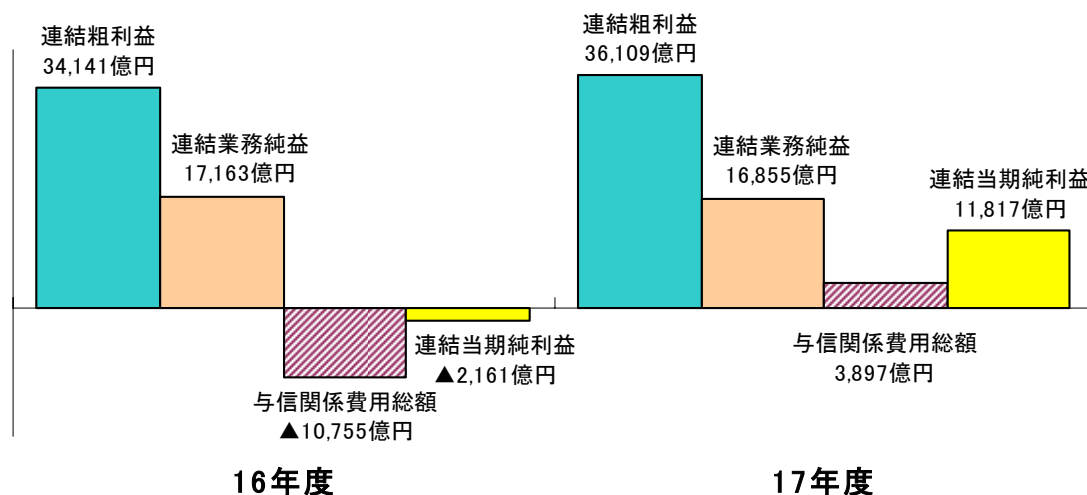
### 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

本説明資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし前提(仮定)は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。例えば、当社に関する予想・見通し等は旧 UFJ ホールディングスとの経営統合計画が順調に実施されることを前提に策定されています。また、繰延税金資産の回収可能性に関する記述等も、当社の経営計画及びその前提条件その他の予測等に基づくものであり、そのような事態の一例と考えられます。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信の「3. 経営成績及び財政状態」、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Report をはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。

## I.連結P/Lの状況

役務取引等利益の増加を主因として、連結粗利益は、16年度比+1,967億円増加しましたが、統合関連費用の発生や子会社経費の増加等により経費が+2,275億円増加したため、17年度の連結業務純益は、16年度比△307億円の1兆6,855億円となりました。

一方、株式等償却の減少による株式関係損益の改善(+0.2兆円)や、多額の貸倒引当金戻入益の計上による与信関係費用の改善(+1.4兆円)を主因として、連結当期純利益は16年度比+1.3兆円増加し、1兆1,817億円となりました。



(単位:億円)

	16年度	17年度	比較
1 連結粗利益 (信託勘定償却前)	34,141	36,109	1,967
2 資金利益	18,123	18,579	455
3 信託報酬 (信託勘定償却前)	1,643	1,475	▲168
4 役務取引等利益	9,248	10,997	1,748
5 特定取引利益+その他業務利益	5,126	5,057	▲68
6 営業費(▲)	16,977	19,253	2,275
7 連結業務純益 (信託勘定償却・一般貸倒引当金繰入前)	17,163	16,855	▲307
8 信託勘定償却	▲121	▲9	112
9 与信関係費用 (臨時損益)	▲12,801	▲2,182	10,618
10 株式等関係損益	▲1,770	609	2,379
11 その他の臨時損益	▲1,504	▲939	565
12 経常利益	964	14,333	13,368
13 特別損益	3,244	6,342	3,097
14 うち貸倒引当金戻入	2,168	6,089	3,921
15 法人税等+法人税等調整額(▲)	5,762	7,863	2,101
16 少数株主利益(▲)	607	993	386
17 当期純利益	▲2,161	11,817	13,978
18 与信関係費用総額 (8+9+14)	▲10,755	3,897	14,652

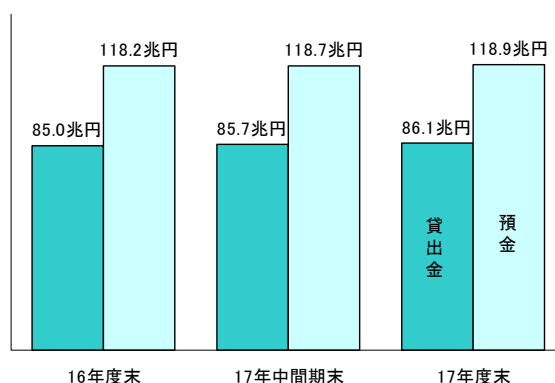
16年度は、旧三菱東京フィナンシャル・グループ及び旧UFJホールディングスの合算の計数を表示しております。  
17年度は、三菱UFJフィナンシャル・グループと旧UFJホールディングスの合算の計数を表示しております。

## Ⅱ. 連結 B/S の状況

### ◇ 貸出金・預金

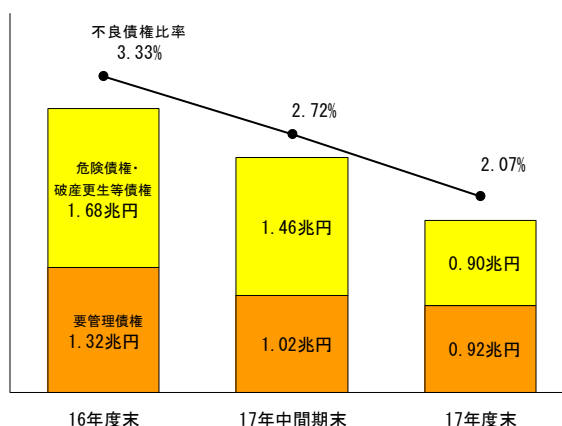
貸出金(含む信託勘定)は、海外店、及び子会社貸出の増加を主因として、16年度末比+1.1兆円増加し、86.1兆円となりました。

預金は、16年度末比+0.7兆円の118.9兆円となりました。



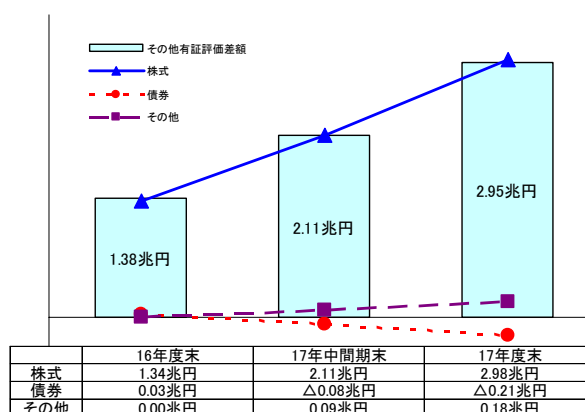
### ◇ 不良債権

17年度末の不良債権比率は、新規発生(債務者区分下位遷移)の減少、業況回復による債務者区分上位遷移の増加、処理の進捗等により、16年度末比△1.26ポイント、17年中間期末比△0.65ポイント低下し、2.07%となりました。



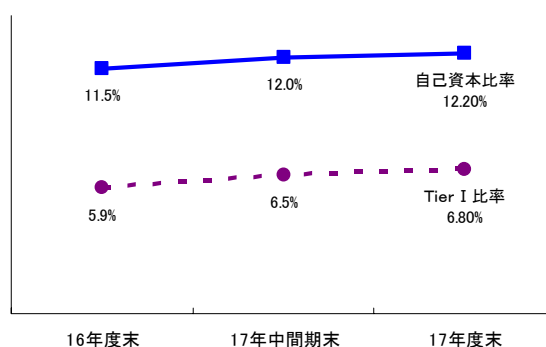
### ◇ 有価証券評価損益

債券が相場下落の影響で含み損に転じましたが、株式相場が好調に推移し、株式の含み益が大幅に拡大した結果、17年度末の有価証券含み損益(評価差額)は16年度末比+1.56兆円の2.95兆円となりました。



### ◇ 連結自己資本比率(速報)

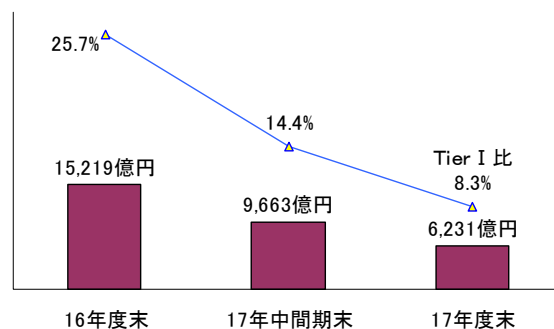
17年度中に、公的資金返済に際し、自己株式の買受7,609億円を実施致しましたが、17年度末についても、連結自己資本比率は12.20%、Tier I比率6.80%と十分な水準を確保しております。



注：16年度末及び17年中間期末は、旧MTFG連結と旧UFJHD連結の合算(旧MTFGから旧UFJ銀行への出資7,000億円を除き、Tier II算入額を再計算)を記載しております。

#### ◇ 繰延税金資産

不良債権の最終処理に伴う有税引当の無税化や欠損金の解消が進んだことに加え、株価上昇により有価証券の含み益に係る繰延税金負債が増加したことにより、17年度末の繰延税金資産の純額は、16年度末比△8,987億円減少し6,231億円となり、Tier Iに占める割合は8.3%となりました。



### Ⅲ. 平成18年度業績予想

連結当期純利益は、17年度に計上された多額の貸倒引当金戻入益が、18年度は計上されない見込みであることを主因として17年度比約△4千億円減少し、7,500億円を予想しています。

配当は、年間配当7,000円(うち中間配当3,500円)を予定しております。

#### 【三菱UFJフィナンシャル・グループ連結】

(単位:億円)

	平成17年度 実績	中間期 実績	平成18年度 予想	中間期 予想
1 経常収益	54,077	25,150	54,600	25,700
2 経常利益	14,333	7,363	14,300	6,300
3 当期純利益	11,817	7,117	7,500	3,400
4 普通株式1株あたり配当金(円)	年間 7,000	中間 3,000	年間 7,000	中間 3,500

17年度及び17年度中間期は、旧UFJホールディングス(4~9月)を含む計数を表示しております。

#### 【子銀行単体合算】

(単位:億円)

	平成17年度 実績	中間期 実績	平成18年度 予想	中間期 予想
5 業務純益 <small>一般貸倒引当金繰入 信託勘定償却前</small>	13,404	6,993	12,700	5,700
6 三菱東京UFJ銀行	10,877	5,796	10,450	4,650
7 三菱UFJ信託銀行	2,526	1,197	2,250	1,050
8 経常利益	11,784	5,680	10,900	4,800
9 三菱東京UFJ銀行	9,357	4,786	9,050	3,950
10 三菱UFJ信託銀行	2,427	893	1,850	850
11 当期純利益	12,822	7,125	6,150	2,650
12 三菱東京UFJ銀行	11,140	6,377	5,100	2,200
13 三菱UFJ信託銀行	1,681	748	1,050	450

17年度及び17年度中間期は、旧UFJ銀行(4~12月)及び旧UFJ信託銀行(4~9月)を含む計数を表示しております。

連結P/Lの状況

(単位:億円)

	16年度	17年度	比較
1 連結粗利益 (2+19)	34,019	36,099	2,080
2 連結粗利益 (信託勘定償却前)	34,141	36,109	1,967
3 資金利益	18,123	18,579	455
4 信託報酬 (5+19)	1,521	1,466	▲55
5 信託報酬 (信託勘定償却前)	1,643	1,475	▲168
6 役務取引等利益	9,248	10,997	1,748
7 特定取引利益+その他業務利益	5,126	5,057	▲68
8 特定取引利益	1,792	1,615	▲176
9 その他業務利益	3,333	3,441	107
10 うち外為売買損益	2,212	3,412	1,200
11 うち国債等債券関係損益	1,048	▲294	▲1,343
12 うち金融派生商品損益 (単体合算)	▲394	113	508
13 営業費 (▲)	16,977	19,253	2,275
14 うち人件費 (単体合算)	3,874	4,140	265
15 うち物件費 (単体合算)	6,967	7,240	272
16 うち税金 (単体合算)	619	691	72
17 連結業務純益 (18+19+20)	17,041	16,846	▲195
18 連結業務純益 (信託勘定償却・一般貸倒引当金繰入前)	17,163	16,855	▲307
19 信託勘定償却	▲121	▲9	112
20 一般貸倒引当金繰入額 (▲は繰入)	( 4,417)	( 5,264)	( 846)
21 与信関係費用 (臨時損益)	▲12,801	▲2,182	10,618
22 貸出金償却	▲6,386	▲1,537	4,849
23 個別貸倒引当金繰入	(▲2,326)	( 819)	( 3,146)
24 特定海外債権引当勘定繰入額	( 77)	( 5)	( ▲71)
25 その他の与信関係費用	▲6,415	▲645	5,769
26 株式等関係損益	▲1,770	609	2,379
27 株式等売却損益	2,077	966	▲1,111
28 株式等償却(減損処理額)	▲3,848	▲357	3,491
29 その他の臨時損益	▲1,504	▲939	565
30 経常利益	964	14,333	13,368
31 特別損益	3,244	6,342	3,097
32 うち償却債権取立益	770	1,008	237
33 うち貸倒引当金戻入	2,168	6,089	3,921
34 うち減損損失	▲50	▲437	▲386
35 税金等調整前当期純利益	4,209	20,675	16,466
36 法人税等+法人税等調整額 (▲)	5,762	7,863	2,101
37 法人税等 (▲)	871	1,409	538
38 法人税等調整額 (▲)	4,890	6,453	1,563
39 少数株主利益 (▲)	607	993	386
40 当期純利益	▲2,161	11,817	13,978
41 貸倒引当金総額 (20+23+24)	2,168	6,089	3,921
42 与信関係費用総額 (19+22+25+41)	▲10,755	3,897	14,652

<主要グループ企業>

	粗利益	経費	実質業務純益	当期純利益
43 三菱東京UFJ銀行(単体)	20,865	9,988	10,877	11,140
44 三菱UFJ信託銀行(単体)	4,602	2,084	2,526	1,681
45 三菱UFJ証券(連結)	2,749	1,840	909	662
46 ユニオン・バンク・コーポレーション(連結)	3,219	2,005	1,214	1,018
47 UFJニコス(連結)	2,066	1,307	758	285

17年度は、三菱UFJフィナンシャル・グループと旧UFJホールディングス(4~9月)の合算の計数を表示しております。また、16年度は、旧三菱東京フィナンシャル・グループ及び旧UFJホールディングスの合算の計数を表示しております。

主要グループ企業は、三菱東京UFJ銀行と旧UFJ銀行(4~12月)の合算、三菱UFJ信託銀行と旧UFJ信託銀行(4~9月)の合算、三菱UFJ証券と旧UFJつばさ証券(4~9月)の合算、並びに旧UFJカード(4~9月)とUFJニコス(10~3月)の合算の計数を表示しております。

連結B/Sの状況

(単位:億円)

	科目	16年度末	17年度末	比較
1	うち貸出金(銀行勘定連結)	838,010	857,631	19,620
2	貸出金(銀行勘定連結・信託勘定合算)	850,031	861,131	11,099
3	うち国内貸出(除く子銀行の持株会社宛貸出金)	732,600	709,212	▲23,387
4	うち住宅ローン	182,022	182,447	424
5	うち海外支店	65,742	86,057	20,315
6	うち国内子会社(UFJニコス)	1,625	9,472	7,847
7	うち海外子会社(ユニオン・バンカール・コーポレーション)	32,004	39,898	7,894
8	有価証券	505,941	485,089	▲20,852
9	うち国内株式	72,349	84,125	11,776
10	うち債券	340,905	312,384	▲28,520
11	うち国債(単体合算)	286,485	247,970	▲38,514
12	預金	1,182,744	1,189,880	7,136
13	うち単体合算	1,130,618	1,129,818	▲799
14	うち個人預金	598,076	602,178	4,102
15	うち法人預金その他	424,608	427,194	2,585
16	うち海外支店	93,584	92,704	▲880

有価証券の評価損益

(単位:億円)

	科目	16年度末	17年度末	比較
17	その他有価証券評価差額	13,849	29,532	15,683
18	うち株式	13,483	29,808	16,324
19	うち債券	311	▲2,101	▲2,413
20	うち国債	127	▲1,883	▲2,010

連結自己資本比率(速報)

	科目	16年度末	17年度末 (速報)	比較
21	連結自己資本比率	11.5%	12.20%	0.7%
22	Tier I 比率	5.9%	6.80%	0.9%

16年度末は、旧三菱東京フィナンシャル・グループ及び旧 UFJ ホールディングスの合算の計数を表示しております。  
(連結自己資本比率は、旧三菱東京フィナンシャル・グループから旧 UFJ 銀行への出資 7,000 億円を控除し、Tier II 算入額を再計算しております。)

金融再生法に基づく資産査定状況 (グループ銀行単体合算、銀行・信託勘定合計)

金融再生法に基づく資産査定増減状況

(単位:億円)

	16年度末	17年中間期末	17年度末	比較	
				16年度末比	17年中間期末比
1	2,791	1,945	1,533	▲ 1,257	▲ 411
2	14,072	12,669	7,497	▲ 6,575	▲ 5,172
3	13,216	10,242	9,243	▲ 3,972	▲ 998
4	30,080	24,857	18,274	▲ 11,805	▲ 6,582
5	902,857	911,601	881,069	▲ 21,788	▲ 30,532
6	3.33%	2.72%	2.07%	▲ 1.26%	▲ 0.65%

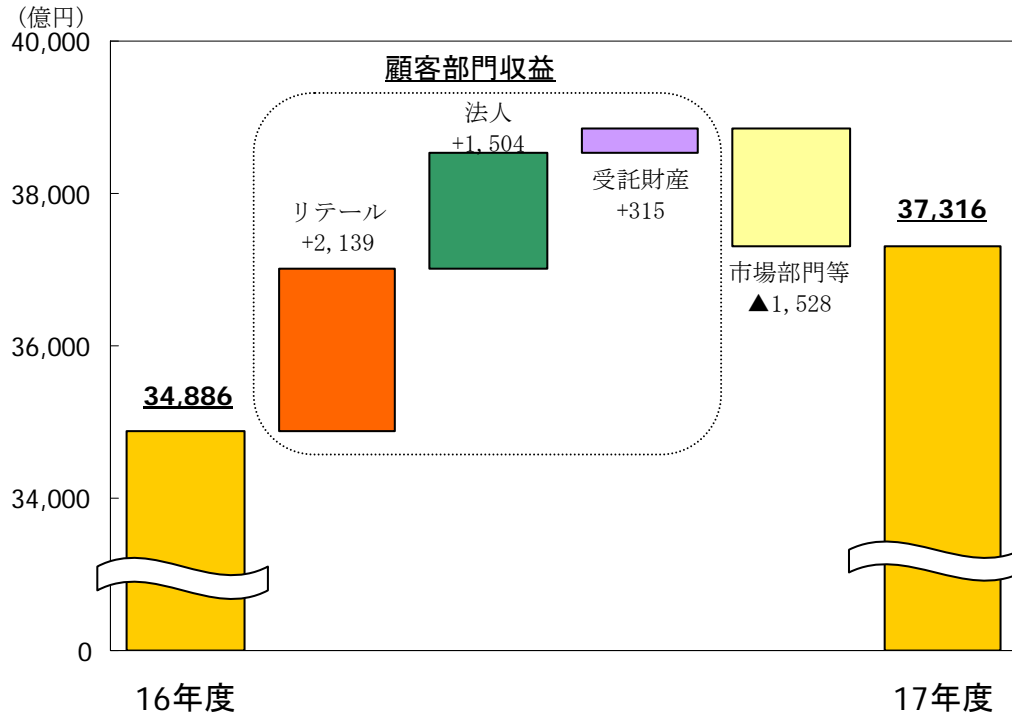
自己査定における各債務者区分の引当率の推移

	16年度末	17年中間期末	17年度末	比較	
				16年度末比	17年中間期末比
7	0.17%	0.16%	0.19%	0.02%	0.03%
8	16.97%	11.73%	10.86%	▲ 6.11%	▲ 0.87%
9	11.44%	5.46%	5.17%	▲ 6.27%	▲ 0.29%
10	31.01%	27.77%	25.17%	▲ 5.84%	▲ 2.60%
11	68.96%	72.40%	69.39%	0.43%	▲ 3.01%

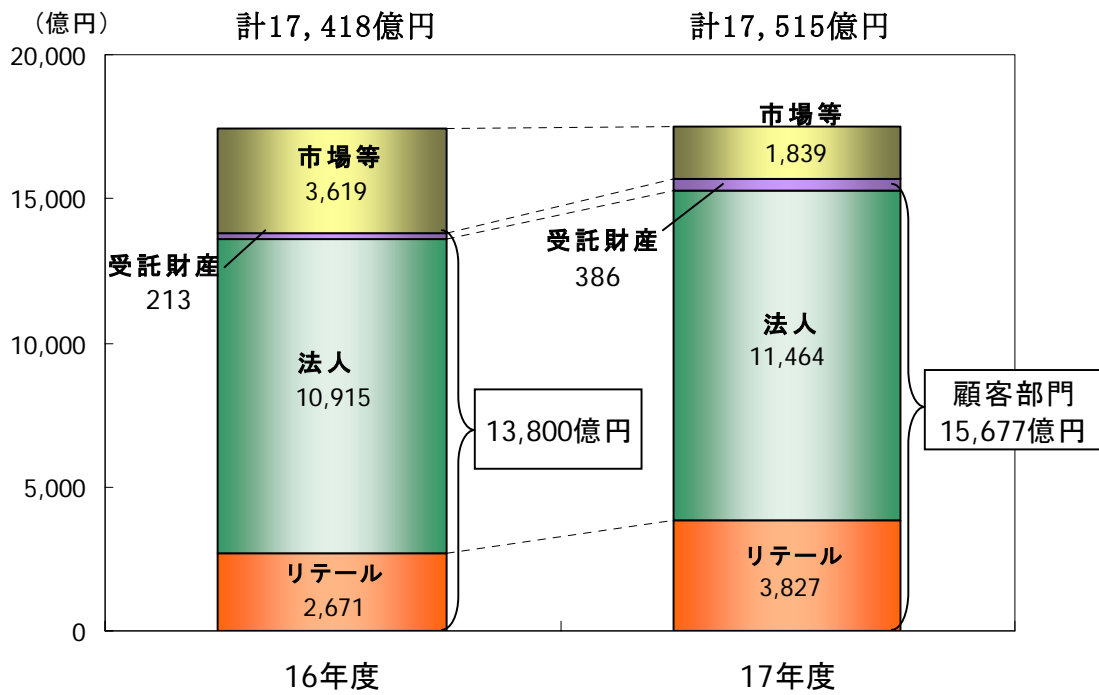
(注) 対象科目は、金融再生法ベース(貸出金、外国為替、支払承諾見返、貸付有価証券、与信に関わる仮払金、未収利息)。

ご参考：部門別損益（管理ベース）

【部門別粗利益推移】



【部門別営業純益推移】



※ 営業純益は、連結業務純益の内部取引消去等連結調整前の計数（管理ベース）